

2023年

12月号

No.501

日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

やすらぎ

TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

I N D E X

- 公開健康講座を開催しました
- 総合内科について
- 「皆さまの声」

令和5年11月22日に公開健康講座を開催しました

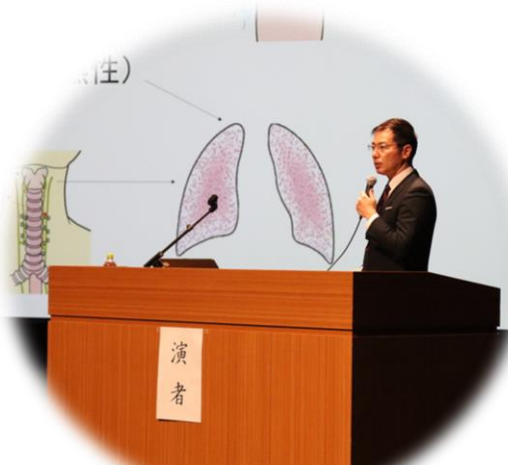
今年は7月1日に開館したオーバード・ホール(中ホール)を会場に、コロナ禍前と同様の形式で開催しました。

一般講演では、芝原第1外科部長が「食道がん」とはどのような疾患なのかについて講演しました。次に「食道がんの周手術期ケア」をテーマに松倉専門看護師と浅生言語聴覚士から、多職種連携で行うチーム医療についての紹介と術後の飲み込みのフォローの仕方について説明をしました。

特別講演では金沢大学消化管外科学稲木紀幸教授をお迎えして「消化器がんに対する最新の外科治療」と題して、消化器がんに対する最新の外科治療についてお話いただきました。



開会の挨拶をする平岩院長



消化器がんに対する最新の外科治療について話す金沢大学消化管外科学稲木紀幸教授



多職種連携で行うチーム医療について話す松倉専門看護師



術後の飲み込みのフォローの仕方について話す浅生言語聴覚士



食道がんについて講演する芝原第1外科部長



閉会の挨拶をする佐々木副院長



「総合内科とは何でしょう」

みなさん、こんにちは。総合内科の川原順子と申します。2023年秋に、富山赤十字病院は、日本病院総合診療医学会の認定施設となりました。「総合診療」とは何をする診療科なのでしょうか？

急性期病院での総合診療の役割は、2つあります。一つ目は、入院中の患者さんが体調を崩したときの内科的なバックアップです。例えば、大腿骨骨折の手術の後、熱が出た、食欲が無くなったというとき、整形外科の先生でなくて内科で診察するほうがよいです。その際、専門家ではなくて「一般内科」として入院患者さんをサポートします。入院患者の困りごとに対応するという意味で「ホスピタリスト」として働きます。

二つ目は、地域の開業医さんが診断に困った場合、病院の診察機器（例えばCTなど）や各種検査を用いて診断をつけ治療につなげていく役割です。患者さんの症状から「これは呼吸器内科だ」「この症状なら血液内科だ」とわかる場合は、かかりつけ医は直に専門医に紹介状を書きます。一方で、どの科を紹介したらよいか分かりづらいことも多々あります。そのような場合、総合内科が窓口として診察し、しかるべき専門医に紹介し、当科で対応が可能であれば治療いたします。

それって、結局「内科」でいいのでは？確かにそうですね。戦後、現代医学が進歩し、専門領域を深く極めることが求められました。一方で、一人の患者さんにいくつもの病状が重なり、総合的に診療することの重要性が再認識されました。国民のニーズにこたえるため、日本専門医機構は総合診療を19番目の研修基本領域にしました。総合診療領域では様々な団体が活動しています。例えば、日本プライマリケア連合学会や日本病院総合診療医学会など、対象とする患者さんや実働する医師に各々特性があります。これらの諸団体は総合診療医を増やすよう日々活動を行っています。これら総合診療医に共通するのは、あえて狭い領域に深く入り込まずに患者さんの困りごとに広く対応する心持ちと医療知識、そして患者さんの話を聞くことです。

赤十字グループ本社は、公的病院の使命を果たすため総合診療医を増やす方針を進めています。総合診療医には、患者さんと専門医とメディカルスタッフをつなぐ役割が期待されています。ここ富山赤十字病院の総合内科で地域の皆さんの健康増進に貢献できればと願っています。

皆さま の声

このコーナーでは、『皆さまの声』（ご意見箱）等にお寄せいただいたご意見・ご要望に対する当院の対応、お礼の投書についてお知らせします。（令和5年7月1日～令和5年8月31日回収分より抜粋）

投書箱は正面玄関・やすらぎホール・各病棟に設置しております。

ご意見・ご要望

◆かかりつけ医で血液検査をし、次回の日赤受診時に提出して下さいと云われました。受付で提出したにも関わらず医師に問うと、ファイルの下になっており気付いてなく日赤でも血液検査をしました。医療費の無駄だと思えます。今回に限らず数回同様のことが有。

「病院からの回答」

◇この度は患者さんより検査データを提供いただいたにもかかわらず、十分な説明がないまま検査を実施してしまい大変申し訳ありませんでした。医師、看護師、受付事務の連携が十分ではありませんでした。かかりつけ医から採血結果を持参された場合は、担当医師に確認し当院での採血を行うことが必要な場合は説明のうえ、診療を行っていきたくと考えております。貴重なご意見ありがとうございます。

ご意見・ご要望

◆2階窓口で文書作成の依頼をしましたが、私文書であるので返信用封筒と切手は必須であり、封筒と切手は売店にあるとのことでした。実際は、売店で封筒の1通売りはなく、26枚入封筒を購入するしかありませんでした。説明するならマニュアル化したうえで説明をお願いします。どの方法が、患者にとって最善かを考えて下さい。

「病院からの回答」

◇この度は、文書窓口での対応でご不快な思いをおかけし申し訳ございません。ご指摘の申込み方法等の説明については、説明内容を統一し分かりやすく説明するよう、また、封筒の準備については、窓口受取りと同様に当院の封筒をお渡しすることに改めました。切手については、ご準備いただき送付先住所等を記載し提出をお願いいたします。ご意見をいただきありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆入院中、病棟の浴室を利用させて頂きました。プラスチックの椅子が低すぎる。30～40cmの高さのプラスチックの椅子があれば立ち上がる時楽になります。1～2脚おいてもらえば助かります。検討よろしく願い致します。

「病院からの回答」

◇入浴用の椅子（高さ30cm）を設置いたしました。ご意見ありがとうございます。

ご意見・ご要望

◆面会時間14時～17時半と聞いていましたが、時間外入口が施錠される事は知りませんでした。HPをみましたが、面会時間は書いてありましたが時間外入口からも入れないとは書かれていなかったように思います。洗濯機を利用できるのであれば、そのような心づもりでいたのですが知りませんでした。病院側は日常茶飯事かも知れませんが入院慣れしていませんので、ルールを守って下さいと言われても、そのルールを知らないので時間外にご迷惑をおかけしました。こんな事言わなくてもわかるでしょうと言う事も、初めての入院なのでわかりません。

「病院からの回答」

◇この度は、面会に関する説明不足や対応でご不快な思いをおかけし申し訳ございません。ご意見にあったように、病院内で決めたルールや決め事が日常化し、患者さんやご家族の立場に立った配慮や説明ができていなかったと推察します。

新型コロナウイルス感染症の流行が継続する中で、患者さんを守ることを目的に面会制限を継続しており、ご家族の方にご迷惑をおかけしています。

今後も入院中の生活や施設設備、面会時間などについては、患者支援センターや入院先の病棟でわかりやすく説明し、HPにおいても公表するなど納得いただけるよう心掛けていきたくと思います。ご意見をいただきありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆身障者トイレにも便座をふく消毒があれば良いと思います。男女共使用しますので考えてみて下さい。

「病院からの回答」

◇1階、2階の身障者トイレに便座クリーナーを設置いたしました。ご意見ありがとうございました。

お礼の投書

●夜間の救急に来たにもかかわらず大変ありがたく思います。先生はじめ看護師様にも、とても親身になって下さり、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これからも患者様にご満足いただける病院づくりに職員一同努めてまいります。

